

福 南

岡山市立福南中学校通信 発行：校長 小野 大

君たちの春よ 来い！

3年生 ◆◆まであと〇〇日

3年生は、私立高校の2期試験が終わり、公立高校の特別入試の内定発表も終わりました。本当に最後の中学校生活を送っています。今日を含めて、卒業式まではあと19日、そのうち登校するのは12日、公立高校入試までは16日、公立高校の合格発表までは24日しかなくなりました。4月からの君たちの選んだ場所で、君たちの春を楽しみ頑張ってほしいと願っています。

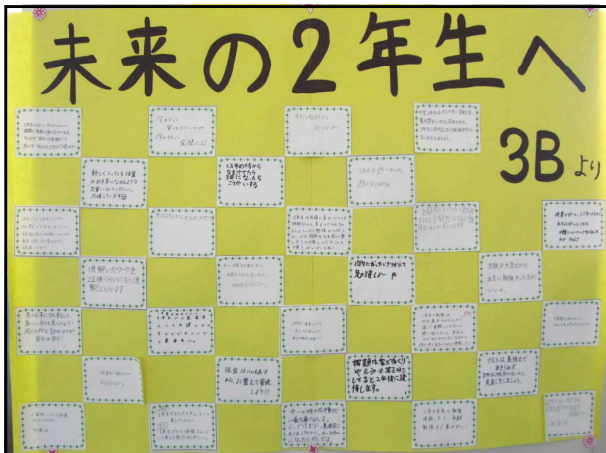
さて、3年生が先輩から引き継ぎ築き上げた福南中の伝統や校風というバトンは、間もなく後輩に預けられます。今、卒業生は、福南中に残せるものや感謝の気持ちを伝えてくれています。3年間共に過ごした卒業生の成長を感じます。福南中で切磋琢磨した君たちなら、社会に出て周りの人から愛され、周りの人のために頑張ってくれると信じています。

☆頑張れ卒業生！ そしてがんばれ受験生！



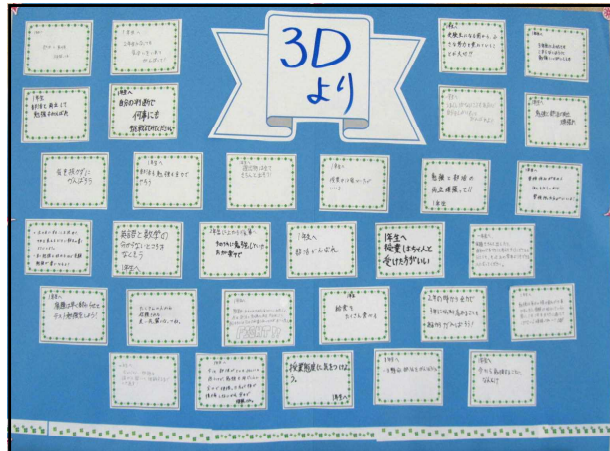
2月20日に、児島湖花回廊の河津桜がいくつかわを咲かせていました。まだ堅いつぼみやもうすぐ咲きそうなつぼみなど様々なつぼみをたくさん付けていました。この桜を見ながら、まさに今の君たちと同じだなと感じました。どのつぼみも、君たちと同じようにもうすぐ花を咲かせるよ。

3年生から後輩へ



調理員の方への感謝状

3年生から後輩へのメッセージ



心温まる嬉しいお話

【心温まる嬉しいお話①】

1年生の土井歩陸君と遠藤剣太君は、学区内のハッピータウン側の歩道を歩いていたところ、道路を挟んだ駐輪場側からご婦人に手伝ってほしいと声を掛けられました。そこでふたりは道の反対側に移動し、ご婦人が自転車のチェーン錠をはずせなくなっていたので、ご婦人が持ってきていた家庭用ペンチで、チェーン錠を切るのを手伝っていました。本校の育成協議会の方が通りかかり、その方がチェーン錠を切るのを手伝い、無事切ることができたそうです。ご婦人から、大変感謝され、育成協議会の方も大変喜ばれ、その方から本校へこの嬉しい連絡を頂きました。

【心温まる嬉しいお話②】

毎朝、教頭先生が全クラスの廊下の窓を開けてくれています。流しなども汚れていたらきれいにしてくれています。200個以上の窓を開けるのは大変な作業です。そんな場面に出会ったとき、1年生の角田志穂さんや江原有優美さんが、黙って廊下の反対側から窓を開けてくれます。また、夕方窓を閉めて回っているときに会ったら、1年生の藤原日菜子さんが手伝ってくれます。教頭先生もとてもとても感激しています。二人とも、当たり前のこととして、行動してくれています。心温まる行動が、当たり前になることで、本当に素晴らしいと感じました。

【心温まる嬉しいお話③】

先日の掃除時間のことでした。普通教室棟の男子トイレがいつも以上に汚れていたときのことです。掃除当番だった1年生の吉井美有君、尾崎太一君、サムンドラ君、田中波輝君が、先生と一緒にとても丁寧に、時間を掛けてきれいにしてくれました。一緒に掃除をした先生がとても感心していました。トイレ掃除をきれいにできる人は、心が本当に育っていると云われます。本校では、ほかのトイレでも、他の掃除場所でも、いつも丁寧に掃除をしてくれています。だからこそ現在の福南中の環境があると思っています。生徒の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

気づいて行動できることは素敵だね！ 福南中の君たちなら心温まる行動がいつでもできると信じています。

素敵な掲示物がたくさん

福南中の壁面には、たくさんの掲示物が貼られています。授業の中で作成した物や委員会で作成した物、先生方が作成した物などいろいろな掲示物があります。どれも丁寧に仕上げられていて、きちんと貼られています。廊下を歩いていることのひとつに、福南中の生徒の皆さんが掲示物を大切にしてくれていることがあげられます。これは、生徒全員が大切にしように思っていないとできないことです。福南中学校の誇りのひとつです。生徒の皆さんに心からありがたうを伝えたい気持ちでいっぱいです。

